

(公印省略)

分医発第5353号
令和6年3月28日

各郡市等医師会長 殿

大分県医師会長 河野 幸治

令和6年度公認スポーツドクター養成講習会
新規受講者の推薦について(依頼)

今般、大分県スポーツ協会長を通じて標記講習会の受講者推薦依頼がありました。
つきましては、添付書類をご参照のうえ、下記により受講希望者をお取りまとめいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

尚、募集定員が少ないため受講者の推薦決定につきましては、本会にご一任くださいますよう併せてお願い致します。

記

1. 募集定員 基礎科目・応用科目 それぞれ1～2名(予定)
2. 申込期限 令和6年4月15日(月) 本会必着
3. 提出先 大分県医師会事務局 庶務課 宛
E-mail: okmam@oita.med.or.jp
4. 申込書類 新規受講個人申込書 データをメールにて送付ください。
申込者顔写真(2部・うち1部は上記 に添付)
申込者医師免許証(写)(A4サイズに縮小コピー)
応用科目からの受講希望者のみ
基礎科目免除申請書類(証明書写)
〔 日本医師会認定健康スポーツ医の認定証(写)、あるいは
日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論(25単位)
または総論Aの修了証(写) 〕
5. 添付書類 令和6年度公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクター
養成講習会開催要項
公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会
新規受講個人申込書

令和6年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会
開催要項

1. 目的

全国各地でスポーツ活動を実践している人達の健康管理やスポーツ外傷・障害に対する予防、治療等の臨床活動を行うとともに、スポーツ医学の研究、教育、普及活動にあたる医師を対象に「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクター設置要項」に基づき、養成講習会を開催する。

2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会

3. カリキュラム

- ・基礎科目Ⅰ・Ⅱ（25単位）
 - ・応用科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（27単位）
- *別紙「カリキュラム一覧」参照

4. 実施方法

(1)基礎科目：新規受講者・過年度継続受講者

科目	期日	実施方法	定員
基礎科目Ⅰ	令和6年 10月5日（土）、6日（日）	対面開催（東京都内を予定）	各300名
基礎科目Ⅱ	令和7年 1月18日（土）、19日（日）	オンライン開催	

(2)応用科目：新規受講者（基礎科目免除者）・過年度継続受講者（基礎科目修了者・基礎科目免除者）

科目	期日	実施方法	定員
応用科目Ⅰ	令和6年 9月7日（土）、8日（日）	オンライン開催	各300名
応用科目Ⅱ	令和6年 12月7日（土）、8日（日）		
応用科目Ⅲ	令和7年 2月8日（土）、9日（日）		

【注意事項】

- ・実施方法は予定であり、変更する場合がある。
- ・基礎科目はスポーツデンティスト養成講習会（医科共通）と同一日程・会場で実施する。
- ・講習は講義ごとの単位制とし、単位認定は1講義単位で行う。
ただし、講義への遅刻・早退があった際には該当講義の単位認定を行わない。なお、各科目においてはⅠ・Ⅱ・Ⅲのいずれからでも受講できる。
- ・日本医師会認定健康スポーツ医の資格保有者、日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論（25単位）または総論A修了者は、基礎科目を免除する。

- ・ 応用科目は、前年度までに基礎科目を修了した者（「基礎科目修了証明書」保有者）及び基礎科目免除者が受講できる。なお、同一年度内に基礎科目と応用科目を同時に受講することはできない。
- ・ 各科目の定員には、過年度継続受講者を含む。
- ・ オンライン講習会参加に際し必要と考えられる機材(PC、スマートフォン、インターネット環境等)やデータ通信料は受講者各自が準備・負担する。
- ・ オンライン講習会における単位認定にあたっては、視聴ログ及び受講確認テストの解答状況によって判定する。

5. 受講条件

令和 6 年 9 月 1 日時点で日本国の医師免許取得後 4 年を経過しており、日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）または JSP0 加盟（準加盟）団体等から推薦され、JSP0 が認めた者。

6. 募集人数

- (1) 基礎科目からの受講者：200 名程度
- (2) 応用科目からの受講者：100 名程度

7. 申込方法

受講希望者は以下の書類を推薦団体へ提出し、推薦団体は申込書類を確認のうえ、所定の推薦様式により JSP0 へ提出する。

(1) 新規受講申込書（顔写真貼付）

＊新規受講申込書は両面印刷で提出すること。

(2) 医師免許証の写し（A4 サイズ）

(3) 日本医師会認定健康スポーツ医の認定証、日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論（25 単位）または総論 A 修了証の写し（基礎科目免除申請者）

＊令和 6 年 9 月 1 日時点で各証明書が有効であること。

8. 申込期限

推薦団体が別に定める。なお、推薦団体から JSP0 への提出期限は令和 6 年 5 月 8 日（水）必着とする。

9. 受講者の決定

(1) 内定

- ・ JSP0 指導者育成委員会スポーツドクター部会（以下「ドクター部会」という。）にて審査のうえ受講者を内定し、該当者および該当者の推薦団体へ通知する。受講希望者が多数の場合は推薦順位、推薦理由等を考慮のうえ審査を行い、内定者を決定する。
- ・ 受講内定者は、内定通知に従いインターネット上の指導者マイページから養成講習会への申し込み及び受講料の納入を完了すること。指定期日までに受講料を納入しない場合は内定を取り消す場合がある。
- ・ 講習会受講時の本人確認に必要となるため、指導者マイページへの顔写真のアップロードを受講開始までに完了すること。

(2)決定

- ・受講料納入者に対し受講決定通知を送付する。
- ・受講有効期間は以下の通りとする。
基礎科目からの受講者：受講開始年度を含め6年間
応用科目からの受講者：受講開始年度を含め3年間
- ・受講期間中に日本医師会認定健康スポーツ医の資格を取得、日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論（25単位）または総論Aを修了した者は、その証明書類の写しを提出することにより基礎科目を免除する。年度途中で基礎科目免除となった者は、当該年度から応用科目を受講できる。
- ・受講有効期間内に全てのカリキュラムを受講終了できない場合は、ドクター部会で受講期間の延長が認められた場合を除き、再度新規受講申込を行うものとする。

10. 受講料

(1)基礎科目からの受講者：57,200円（税込・教材費含む）

(2)応用科目からの受講者：33,000円（税込・教材費含む）

【注意事項】

- ・一旦納入された受講料は返金しない。なお、受講決定後に基礎科目の免除申請を行った場合も差額の返金を行わない。
- ・受講料はJSP0が送付する受講内定通知到着後に納入すること。
- ・上記受講料は受講終了又は受講有効期限まで有効となる。

11. 資格取得

(1)基礎科目修了（基礎科目免除者を除く）

- ・基礎科目修了者には、当該年度末に「基礎科目修了証明書」を発行する。

(2)受講終了

- ・全てのカリキュラムを受講終了した者には、JSP0から受講終了通知を送付する。

(3)登録及び認定

- ・新規登録対象者は、JSP0から別途送付される登録手続きに関する案内に基づき、指定期日までに登録料を支払う。
- ・登録料は4年間で40,000円とする。新規登録時は初期登録手数料として別途3,300円(税込)が必要となる。すでに公認スポーツ指導者資格を取得している場合は、登録料が異なる場合がある。
- ・新規登録対象者からの登録料支払いをもって公認スポーツドクターとして認定し、認定証および登録証を交付する。資格有効期間は4年間とする。

12. 個人情報の取扱いについて

(1)受講者の個人情報は、以下の目的のために使用する。

- ・本養成講習会の実施に関する連絡（資料の送付等）
- ・受講状況の管理
- ・その他スポーツドクター関係業務

(2)受講者の個人情報、以下の通り共同利用する。

共同して利用される個人情報の項目	・新規受講申込書に記載された情報 ・指導者マイページに登録された情報 ・その他受講中に取得した情報
共同して利用する者の範囲	・JSP0 ・推薦団体
共同して利用する者の利用目的	(1)に記載の目的
個人情報の管理責任者	公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

(3)JSP0 個人情報保護方針は、以下の URL を確認すること。

<https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html>

13. その他

(1)未修了者の次年度以降の講習会受講について

- ・前年度までに全てのカリキュラムを受講終了しなかった者には、受講期限まで、JSP0 から年度毎に受講案内を送付する。
応用科目は、前年度までに基礎科目を修了した者（「基礎科目修了証明書」保有者）及び基礎科目免除者が受講できる。なお、同一年度内に基礎科目と応用科目を同時に受講することはできない。
- ・受講者は開催日程等確認のうえ、所定の方法にて養成講習会参加を申し込む。

(2)資格更新のための研修について

- ・公認スポーツドクターは、有効期限を迎える6カ月前までにJSP0が定める研修会（更新研修）に参加しなければならない。

(4)広報について

- ・本講習会風景の写真等は、JSP0 ホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
- ・受講者は、JSP0 や講師の特別の許可がある場合を除き、講義の録音、録画、写真撮影（画面のスクリーンショット含む）をすることは禁止とする。

(5)不適切行為について

- ・受講者としてふさわしくない行為（JSP0 登録者等処分規程等において違反行為と規定された行為）があったと認められたときは、スポーツドクター部会において審査し、受講資格の取消しないしは停止、受講済科目の一部ないしは全部の取消し、資格登録権利の停止等の処分を行う場合がある。なお、処分内容については、JSP0 登録者等処分規程等の関連規程に照らし合わせるとともに、受講状況等に応じて検討することとする。また、JSP0 又は JSP0 加盟団体等が受講者としてふさわしくない行為に関する事実調査を開始して以降、処分内容が確定するまでの間、当該受講者からの「受講辞退」申請は受理しない。
- ・JSP0 登録者等処分規程に基づく処分を受けた者にあつては、推薦団体から JSP0 へ申込を行う時点で当該処分に対する所定の再教育プログラムを修了し、資格等が回復していること。

(6)免責事項について

- ・天災地変や伝染病の流行、会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の JSP0 が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、JSP0 ではその責任を負わない。

(7)受講時の支援・配慮の要望について

- ・ 手話通訳、要約筆記等の希望や受講にあたって支援や配慮が必要な場合は、受講申込時に JSP0 事務局まで申し出ること。申し出があった場合、個別の状況等に基づき、総合的・客観的に判断し、必要かつ合理的な対応を講じる。

なお、受講をキャンセルした場合で必要かつ合理的な対応のキャンセルに伴う費用が発生した場合は、当該受講者の負担とする。

<本件に関する問い合わせ>

公益財団法人日本スポーツ協会

スポーツ指導者育成部 指導者育成課 スポーツドクター担当

TEL：03-6910-5812／Email：sports-doctor@japan-sports.or.jp



日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会カリキュラム

カテゴリー	カリキュラム No.	カリキュラム	時間	単位数
基礎	1	スポーツ医学概論	1h	1
	2	神経・筋の運動生理とトレーニング効果	1h	1
	3	呼吸・循環系の運動生理とトレーニング効果	1h	1
	4	内分泌・代謝系の運動生理とトレーニング効果	1h	1
	5	運動と栄養・食事・飲料	1h	1
	6	女性と運動	1h	1
	7	発育期と運動 — 小児科系	1h	1
	8	中高年者と運動 — 内科系	1h	1
	9	発育期と運動 — 整形外科系	1h	1
	10	中高年者と運動 — 整形外科系	1h	1
	11	メンタルヘルスと運動	1h	1
	12	運動のためのメディカルチェック — 内科系	1h	1
	13	運動のためのメディカルチェック — 整形外科系	1h	1
	14	運動と内科的障害(急性期・慢性期)	1h	1
	15	スポーツによる外傷と障害(1) — 上肢	1h	1
	16	スポーツによる外傷と障害(2) — 下肢	1h	1
	17	スポーツによる外傷と障害(3) — 脊椎・体幹	1h	1
	18	スポーツによる外傷と障害(4) — 頭部	1h	1
	19	運動負荷試験と運動処方の基本	1h	1
	20	運動療法とリハビリテーション — 内科系疾患	1h	1
	21	運動療法とリハビリテーション — 運動器疾患	1h	1
	22	アンチ・ドーピング	1h	1
	23	障害者とスポーツ	1h	1
	24	保健指導	1h	1
	25	スポーツ現場での救急処置	1h	1
合計			25h	25

カテゴリー	カリキュラム No.	カリキュラム	時間	単位数
応用	26	スポーツと環境	1h	1
	27	スポーツによる精神的障害	1h	1
	28	メンタルトレーニング	1h	1
	29	筋力トレーニングの理論と実際	1h	1
	30	持久性トレーニング	1h	1
	31	スポーツバイオメカニクス	1h	1
	32	アスリートの体力評価	1h	1
	33	スポーツによる内科的障害	1h	1
	34	循環器疾患とスポーツ	1h	1
	35	呼吸器疾患とスポーツ	1h	1
	36	腎・肝・消化器疾患とスポーツ	1h	1
	37	スポーツ外傷・障害の最新情報(1) — 脊柱・骨盤・大腿	1h	1
	38	スポーツ外傷・障害の最新情報(2) — 肩	1h	1
	39	スポーツ外傷・障害の最新情報(3) — 肘・手関節・手指	1h	1
	40	スポーツ外傷・障害の最新情報(4) — 膝	1h	1
	41	スポーツ外傷・障害の最新情報(5) — 下腿・足関節・足部	1h	1
	42	スポーツ外傷・障害の最新情報(6) — その他の外科的疾患	1h	1
	43	アスレティック・リハビリテーション	1h	1
	44	アスリートの健康管理の実際	1h	1
	45	ドーピング・コントロールの実際	1h	1
	46	大会救護と救急医療	1h	1
	47	競技と安全対策	1h	1
	48	テーピング・ブレース	1h	1
	49	スポーツと海外遠征	1h	1
	50	スポーツと歯科	1h	1
	51	スポーツと眼科	1h	1
	52	スポーツとアレルギー疾患	1h	1
	合計			27h

【2024年度版】

日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会 受講の流れ

<新規受講者> 時期(目安)	内容				
<2024年> 3月以降	開催案内(推薦依頼) <JSPO ⇒ 加盟団体等(推薦団体)>				
	受講申込 <受講希望者 ⇒ 推薦団体>				
	◆ 提出書類 ①新規受講申込書(顔写真貼付) ②医師免許証の写し(A4サイズ)/2024年10月1日時点で取得後4年を経過していること ③日本医師会認定健康スポーツ医の認定証または日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論(25単位)または総論A修了証の写し ※基礎科目免除者 ◆ 申込期限 推薦団体が別に定める				
5月上旬	新規受講者推薦 <推薦団体 ⇒ JSPO>				
	◆ 提出書類 ①新規受講者推薦書 ②新規受講者推薦名簿 ③申込書類(新規受講申込書ほか) ◆ 推薦期限 2024年5月8日(水) 必着 ⇒JSPO指導者育成委員会スポーツドクター部会にて受講者として内定				
6月下旬	受講内定通知 <JSPO ⇒ 受講内定者、推薦団体>				
	◆ 送付書類(予定) ①受講内定通知文書 ②受講内定者名簿(推薦団体宛て) ③各科目日程表兼会場案内 ④指導者マイページ利用マニュアル ◆ 受講内定者 ①指導者マイページのアカウント取得指定の期日までに受講料を納入 ②指導者マイページから養成講習会への参加申込 ③指導者マイページから養成講習会受講料納入 <受講料>・57,200円(税込)(教材費含む/基礎科目からの受講) ・33,000円(税込)(教材費含む/応用科目からの受講) ⇒手続きを完了した者を受講者として決定				
7月下旬以降	受講決定通知 <JSPO ⇒ 受講決定者、推薦団体>				
	◆ 送付書類(予定) ①受講決定通知文書 ②スポーツ医学研修ハンドブック(基礎科目編、応用科目編) ⇒受講決定者は、スポーツ医学研修ハンドブックを準備のうえ養成講習会に参加				
<新規受講者> 時期(目安)	内容				
<2024年> 10月以降	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">基礎科目からの受講者 (基礎科目受講)</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">応用科目からの受講者 (応用科目受講)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> ◆基礎科目Ⅰ 期日:2024年10月5日(土)~6日(日) 対面開催 *東京都内を予定 ◆基礎科目Ⅱ 期日:2025年1月18日(土)~19日(日) オンライン開催 ⇒基礎科目修了者は、 修了翌年度以降に「応用科目」を受講 ※基礎科目修了者には当該年度末に基礎科目修了証明書を送付する。 </td> <td style="vertical-align: top;"> ◆応用科目Ⅰ 期日:2024年9月7日(土)~8日(日) オンライン開催 ◆応用科目Ⅱ 期日:2024年12月7日(土)~8日(日) オンライン開催 ◆応用科目Ⅲ 期日:2025年2月8日(土)~9日(日) オンライン開催 </td> </tr> </tbody> </table>	基礎科目からの受講者 (基礎科目受講)	応用科目からの受講者 (応用科目受講)	◆ 基礎科目Ⅰ 期日:2024年10月5日(土)~6日(日) 対面開催 *東京都内を予定 ◆ 基礎科目Ⅱ 期日:2025年1月18日(土)~19日(日) オンライン開催 ⇒基礎科目修了者は、 修了翌年度以降に「応用科目」を受講 ※基礎科目修了者には当該年度末に基礎科目修了証明書を送付する。	◆ 応用科目Ⅰ 期日:2024年9月7日(土)~8日(日) オンライン開催 ◆ 応用科目Ⅱ 期日:2024年12月7日(土)~8日(日) オンライン開催 ◆ 応用科目Ⅲ 期日:2025年2月8日(土)~9日(日) オンライン開催
基礎科目からの受講者 (基礎科目受講)	応用科目からの受講者 (応用科目受講)				
◆ 基礎科目Ⅰ 期日:2024年10月5日(土)~6日(日) 対面開催 *東京都内を予定 ◆ 基礎科目Ⅱ 期日:2025年1月18日(土)~19日(日) オンライン開催 ⇒基礎科目修了者は、 修了翌年度以降に「応用科目」を受講 ※基礎科目修了者には当該年度末に基礎科目修了証明書を送付する。	◆ 応用科目Ⅰ 期日:2024年9月7日(土)~8日(日) オンライン開催 ◆ 応用科目Ⅱ 期日:2024年12月7日(土)~8日(日) オンライン開催 ◆ 応用科目Ⅲ 期日:2025年2月8日(土)~9日(日) オンライン開催				

<p><2025年度以降></p>	<p style="text-align: center;">基礎科目修了者／応用科目からの受講者⇒応用科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを受講 ※応用科目は前年度までの基礎科目修了者または基礎科目免除者が受講可能 ※基礎科目未修了者は次年度以降も基礎科目を受講</p> <p>◆応用科目Ⅰ</p> <p>◆応用科目Ⅱ</p> <p>◆応用科目Ⅲ</p>
<p><受講終了後> 毎年3月下旬</p> <p>毎年8月上旬頃</p>	<p style="text-align: center;">受講終了通知 <JSPO ⇒ 受講終了者、推薦団体></p> <p>◆送付書類(予定)</p> <p>①受講終了通知文書 ②受講終了者名簿(推薦団体宛て)</p> <hr/> <p style="text-align: center;">新規登録手続きに関する案内送付 <JSPO ⇒ 新規登録対象者></p> <p>◆新規登録対象者</p> <p>①案内に従い、登録手続きを行う(登録料を納入する) 40,000円(登録料)+3,300円(税込)(初期登録手数料) ※公認スポーツ指導者資格を別に保有する場合は登録料が異なる</p> <p>②期日までに登録手続きを完了した者を10月1日付で公認スポーツドクターとして認定 登録証および認定証を交付(資格有効期間は4年間) 資格更新にあたり、有効期限の6カ月前までに指定の研修会(更新研修)の受講が必要</p>

<未修了者(過年度受講者)>	
時期(目安)	内容
<p><2025年> 7月下旬</p>	<p style="text-align: center;">開催案内 <JSPO ⇒ 過年度継続受講者></p> <p>◆メール連絡</p> <p>①開催案内 ②開催要項 ③日程表</p>

令和6年度公認スポーツドクター養成講習会
新規受講申込書

推薦団体	(申込先となる加盟団体)
------	--------------

顔写真貼付
3ヵ月以内に
撮影したもの
(4cm×3cm)

顔写真貼付

写真の裏面には必ず
氏名を記入してください。

フリガナ			
氏名			性別
ローマ字表記 (全て大文字)			
生年月日 (西暦) 例:1990/01/01			年齢

2024年4月1日時点

勤務先 (所属部署)			
勤務先	〒 -		
	TEL (ハイフンで区切る)		FAX (ハイフンで区切る)
	メール		
緊急連絡先	携帯TEL (ハイフンで区切る)		携帯メール

*携帯メールは、養成講習会の開催期間中などに災害が発生し、携帯電話の通話ができない場合に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

*勤務先以外(自宅など)に資料の送付を希望される場合は以下にご記入ください。

資料 送付先	〒 -		
	TEL (ハイフンで区切る)		FAX (ハイフンで区切る)
	メール		

<医療資格系情報>

*令和6年(2024年)9月1日時点で医師免許取得後4年が経過(令和2年(2020年)9月1日以前に取得)していること

医師免許 取得日	昭和・平成 年 月 日	免許番号 (A4サイズ写し添付)	
最終学歴	大学(大学院)、学部、学科ほか		卒業・修了年度(西暦)
			年 卒業・修了
臨床面での 専門 (プルダウン) は必須 は最大3つまで 選択可	プライマリー領域		主に携わっているスポーツ(3つまで) (プルダウン)
	スペシャリティ領域		
	スペシャリティ領域		
	スペシャリティ領域		

<基礎科目 免除希望> 【該当するものに】

		有効期限(西暦)
保有資格 (証明書を 添付すること)	日本医師会認定健康スポーツ医	年 月 日
	日本整形外科学会認定スポーツ医 (スポーツ医学研修会 総論A修了者含む)	年 月 日

<裏面も必ず記入してください>

期間 < 必須 >	職歴 < 必須 >
年 月 日 ~ 年 月 日	
年 月 日 ~ 年 月 日	
年 月 日 ~ 年 月 日	
年 月 日 ~ 年 月 日	
年 月 日 ~ 年 月 日	

公認スポーツドクターの資格取得動機を記入してください。 < 必須 >

推薦団体(都道府県体育・スポーツ協会又は中央競技団体)との関係を記入してください。 < 必須 >

推薦団体の傘下団体(市町村体育協会、都道府県競技団体など)との関係があれば記入してください。 < 必須 >

これまでのスポーツ選手・愛好家を対象とする臨床活動と 資格取得後、公認スポーツドクターとして取り組みたい臨床活動として当てはまるものに をしてください。 < 必須 > (複数回答可)

これまで	資格取得後	
		A 競技会等での医事運営
		B スポーツクラブ(チーム)のドクターとして参画、選手の健康管理、診療及び医学的指導、助言
		C 学校医として、あるいは学校医と協力し、学童の体育活動の医学的指導・助言
		D (市民スポーツレベルからトップアスリートまでを含む) スポーツ参加者の メディカルチェック、健康診断、診療など
		E 各種疾病を有する人の運動処方作成、あるいはその指導
		F その他(下段に記入)
	これまで	
	資格取得後	

スポーツ医学(公認スポーツドクターとして)に関連した今後の活動計画について記入してください。 < 必須 >

地元医師会の会員ですか?	
はい・いいえ	
役職	

JSPO公認スポーツ指導者資格を保有している方は以下に記入してください						
資格名 (プルダウン)						
登録番号 (7ケタ)						

スポーツリーダーの方は登録番号の記入は不要です。

< 必須 > 個人情報の取り扱いに同意します。(プルダウンでチェックを選択してください)
 本紙に記載された個人情報は、推薦団体を通じ、JSPOに提出されます。その他、個人情報の取扱いに関する詳細は、開催要項に記載の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

診療科目名・ID 一覧

プライマリー領域			スペシャリティー領域				
ID	科目名	ID	科目名	ID	科目名	ID	科目名
a	内科	k	脳神経外科	01	消化器	11	内分泌代謝
b	小児科	l	放射線科	02	循環器	12	リウマチ
c	皮膚科	m	麻酔科	03	呼吸器	13	アレルギー
d	精神科	n	病理	04	血液	14	感染症
e	外科	o	臨床検査	05	神経内科	15	小児外科
f	整形外科	p	救急科	06	心療内科	16	関節外科
g	産婦人科	q	形成外科	07	老年病	17	脊椎外科
h	眼科	r	リハビリテーション科	08	腎臓	18	スポーツ医学
i	耳鼻咽喉科	s	総合診療科	09	肝臓	19	産業医学
j	泌尿器科	t	社会医学	10	糖尿病	99	その他

*該当するものがない場合は、その他もしくは最も近い科目を選択してください

*プライマリー領域から1科目、スペシャリティー領域から1~3科目選択してください

専門スポーツ・ID 一覧

ID	スポーツ名	ID	スポーツ名	ID	スポーツ名	ID	スポーツ名
1	陸上競技	13	レスリング	33	カヌー	55	エアロビック
2	水泳	14	セーリング	34	アーチェリー	60	アメリカンフットボール
S1	競泳	15	ウエイトリフティング	35	空手道	61	ローラースポーツ
S2	飛込み	16	ハンドボール	36	アイスホッケー	62	ダンススポーツ
S3	アーティスティックスイミング	17	自転車競技	37	銃剣道	C2	パラスポーツ
S4	水球	18	ソフトテニス	38	クレー射撃	C9	プロサッカーリーグ
3	サッカー	19	卓球	39	なぎなた	SZ	スポーツ全般
4	スキー	20	軟式野球	40	ボウリング	JG	ジョギング
5	テニス	21	相撲	41	ボブスレー・リュージュ・スケルトン	MT	マラソン
6	ローイング(ボート)	22	馬術	42	野球	WK	ウォーキング
7	ホッケー	23	柔道	43	綱引	WS	ウインタースポーツ
8	ボクシング	24	ソフトボール	44	少林寺拳法	SB	スノーボード
9	バレーボール	25	フェンシング	45	ゲートボール	MS	マリンスポーツ
10	体操	26	バドミントン	46	武術太極拳	SF	サーフィン
G1	一般体操	27	弓道	47	ゴルフ	BS	ウインドサーフィン
G2	体操競技	28	ライフル射撃	48	カーリング	SD	スクーバダイビング
G3	新体操	29	剣道	49	パワーリフティング	MO	モータースポーツ
11	バスケットボール	30	近代五種・バイアスロン	50	オリエンテーリング	WT	ウエイトトレーニング
12	スケート	31	ラグビーフットボール	51	グラウンド・ゴルフ	SE	高齢者スポーツ
K1	スピードスケート	32	山岳	52	トランポリン	CS	格闘技
K2	ショートトラック	M1	縦走	53	トライアスロン	AK	合気道
K3	フィギュアスケート	M2	フリークライミング	54	パウンドテニス	IN	その他

*該当するものがない場合は、その他もしくは最も近いものを選択してください

*その他を選択した場合は、具体的な専門スポーツ記載欄がありますのでご記入ください

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクター設置要項

公益財団法人日本スポーツ協会(以下「本会」という)は、本会「公認スポーツ指導者制度」に基づき公認スポーツドクターの育成と活動促進を目的として「公認スポーツドクター設置要項」を次の通り定める。

1. 役割

スポーツドクターの役割は次の通りとする。

- (1) スポーツ活動を行う者に対する健康管理と競技能力向上の援助。
- (2) スポーツ外傷・障害に対する予防、診断、治療、リハビリテーションなど。
- (3) 競技会等の医事運営並びにチームドクターとしての参加。
- (4) スポーツ医学の研究、教育、普及活動。
- (5) その他上記に準ずる必要な事項。

2. 養成

スポーツドクターの養成は、次の講習会によって行う。

(1) 講習会の開催

スポーツドクター養成講習会は、本会指導者育成委員会スポーツドクター部会が、別に定める本会公認スポーツドクター養成カリキュラム(基礎科目・応用科目)により企画、運営する。

(2) 受講資格

受講者は、受講開始年度の4月1日時点で日本国の医師免許を4年以上有し、かつ原則として、本会あるいは本会加盟団体・準加盟団体(以下「本会加盟団体」という)より推薦されたものとする。

(3) 受講の免除

講習会の受講者で、日本医師会認定健康スポーツ医に認定された者、または日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論Aを修了した者は、それぞれ発行された認定証または、修了証の確認など必要な手続により、講習会における基礎科目25単位の受講を免除することができる。

3. 登録資格の審査

審査は次の通りとする。

- (1) 本会スポーツドクター部会で審査する。
- (2) 審査を受けるものは、次の条件を備えなければならない。
 - ① 講習会の全単位(52単位)を修得した者。
 - ② 相当のスポーツ医学の臨床経験を有する者。

4. 登録・認定

本会公認スポーツドクターは、登録により認定される。
登録については次の通りとする。

- (1) 前項の審査に合格した者は、「公認スポーツ指導者登録規程」に基づき、指定された期日までに登録手続きを行う。
- (2) 本会は、手続きが完了した者に対し「認定証」及び「登録証」を交付する。
- (3) 登録による認定有効期間は、4年間とする。

5. 登録・認定の更新

- (1) 認定の更新をしようとする者は、資格有効期限が切れる6ヶ月前までに本会が定める研修を修了し、前項に準じた登録手続きを行う。
- (2) 前号の研修は、本会スポーツドクター部会が別に定める。

6. 組織

公認スポーツドクター相互の連絡を密にし、活動促進、相互研修、情報交換、広報活動等を図る組織として、加盟団体スポーツドクター代表者協議会を設置する。

7. 特典

公認スポーツドクターは、次の特典を受けることができる。

- (1) 本会が発行する情報誌やスポーツ医・科学研究報告書などの無料配布。
- (2) 本会ならびに本会加盟団体が実施する海外研修などを含む事業への参加資格。

8. 認定の保留、停止、取り消し

本会公認スポーツドクターの認定保留、停止、取消については「公認スポーツ指導者登録規程」に基づくものとする。

附 則

この設置要項は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

但し、この要項の制定を前提に昭和 52 年度以降本会が実施したスポーツ関係臨床医相互研修会に参加し、これを履修し条件を満たした者はこの要項によって養成されたものとみなし、本要項第 3 項による審査を受ける資格を有するものとする。

この設置要項改訂は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

この設置要項改訂は、平成 11 年 3 月 8 日から施行する。

この設置要項改訂は、公益財団法人日本体育協会設立の登記の日(平成 23 年 4 月 1 日)から施行する。

この設置要項改訂は、平成26年3月7日制定し、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

この設置要項改訂は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

この設置要項改訂は、令和元年 6 月 21 日から施行する。